

学術情報

第15回東京女子医科大学血栓止血研究会

日 時 平成7年3月9日(木) 6:00～8:00 pm

場 所 第一臨床講堂

当番世話人挨拶

(神経内科) 岩田 誠

一般演題

座長(神経内科) 内山真一郎

1. c-Mpl リガンドのヒト巨核球産生に対する作用

(血液内科) 寺村正尚・吉永健太郎・岩部弘治・溝口秀昭

2. 絨毛細胞の抗血栓機序に関する研究

(母子総合医療センター) 中谷明子・中林正雄

(産婦人科) 武田佳彦

3. Flowcytometry による ADP 刺激血小板表面膜結合フィブリノゲンの測定

(神経内科) 山崎昌子・内山真一郎・橋口孝子・岩田 誠

4. 肺血栓塞栓症の臨床的凝血学的検討

(循環器内科) 村崎かがり・岩出和徳・半田 淳・薄井秀美

佐藤加代子・早船直彦・一方井祐子・山下倫生・大木勝義・細田瑛一

(国立横浜病院循環器内科) 青崎正彦

座長(神経内科) 岩田 誠

特別講演

血小板活性化における蛋白質チロシンリン酸化反応

(山梨医科大学臨床検査医学 教授) 久米章司

1. c-Mpl リガンドのヒト巨核球産生に対する作用

(血液内科) 寺村正尚・吉永健太郎・
岩部弘治・溝口秀昭

【目的】 c-Mpl リガンド(トロンボポエチン)のヒト巨核球造血に対する単独での作用, および他のサイトカインとの相互作用を明らかにすることを目的とした。

【方法】 化学療法後のPBSC採取時(G-CSF併用)の細胞よりCD34陽性細胞をイムノビーズ法を用いて分離した。得られたCD34陽性細胞にc-Mpl リガンド(キリン社より供与)を単独あるいはIL-3, IL-6, IL-11, SCF とともに添加し, 無血清コロニー培養法により巨核球コロニー形成について検討した。さらにCD34陽性細胞にc-Mpl リガンドを添加し無血清で液体培養を行い, 巨核球のploidyの増加についてフローサイトメトリーを用いて検討した。

【結果】 c-Mpl リガンドをCD34陽性細胞に単独で

添加し無血清コロニー培養を行うと, 濃度依存性に巨核球コロニーが形成された。さらにc-Mpl リガンドにIL-3, IL-6, IL-11, SCF を各々加えると, 巨核球コロニー数がc-Mpl 単独に比べ増加し, c-Mpl にIL-3およびSCF を同時添加するとさらに増加した。またCD34陽性細胞にc-Mpl リガンドを添加し, 無血清液体培養をすると巨核球系細胞が増加し, ploidyの増加も認められた。

【考察】 c-Mpl リガンドにはMeg-CSF 活性およびMeg-POT 活性の両方の活性があると考えられ, ヒト巨核球の増殖および成熟の広範な過程に作用する因子であると考えられる。

2. 絨毛細胞の抗血栓機序に関する研究

(母子総合医療センター・*産婦人科学)

中谷明子・中林正雄・武田佳彦*

【目的】 胎盤循環の維持には絨毛細胞のヘパラン硫酸を介した抗血栓性作用およびPGI₂の関与が示唆さ